

部下のやる気に火をつけるほめ方(第6回)

何をほめるか

2021.12.07



次は「何をほめるか」について説明します。先の例(成果を上げた部下A)で考えると、当然ほめるべきポイントは「成果を上げたこと」であり、基本的にはこれ以外の選択肢はありません。

「何をほめるのか」のポイント

しかし、それだけでは「Aさん、今回の成果は本当に素晴らしいね」という一言で終わってしまいます。前述のように1つの成果は複数の人の見えない努力が結実した結果です。企業にとって最も大切なのは成果や実績であることは間違いありませんが、それをもたらした社員にとっては準備や失敗を含めた過程を経て、その成果が生まれます。

つまり、ここでのポイントは「成果をほめるときは、成果そのものだけでなく、そこに至るプロセスを含めてほめる」こと、そして「部下にとっては、過程や準備期間や失敗も含めてその成果があるということを、上司がきちんと理解しておく」こととなります(図表2参照)。

■ 図表2 「何をほめるのか」の例とポイント

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 成果そのもの・ 成果につながるプロセス・ 時には失敗やコンプレックスもほめること の材料にする <p>など</p> <p>【ポイント】</p> <p>○ほめるときには具体例を用いてほめる</p> |
|--|

言葉に具体性を持たせるための工夫… 続きを読む